

科目・コース（ユニット）名：社会保障を考える

英語名称：Introduction to Social Security

【担当責任者】中島 範宏

【連絡先】初回の講義時にお知らせします。

【開講年次】1 年, 【学期】前期, 【必修／選択】選択必修

【授業形態】講義

【概要】

日々のニュース等で社会保障という言葉を目にする機会は多いと思われる。しかし、社会保障とは具体的に何かを説明することは意外と難しいのではないだろうか。

社会保障には、高齢者を連想させる年金や介護といった仕組みがある一方で、子育て支援や失業時の保険といった若者が恩恵を受ける仕組みも含まれる。また、皆さんが携わることになる医療や公衆衛生も社会保障の仕組みの 1 つである。

このように、一見すると難解に見える社会保障について、歴史的背景や海外との比較、実例を交えながら分かりやすく解説していく。

【学習目標】

- 1) 社会保障とは何かについて説明できる。
- 2) 日本の社会保障の特徴について説明できる。
- 3) 社会保険の仕組みと意義について説明できる。
- 4) 社会保険の種類と内容について説明できる。
- 5) 公的扶助（生活保護）の意義と扶助の種類について説明できる。
- 6) 社会保障における公衆衛生・医療の位置づけについて説明できる。
- 7) 公費医療の意義と内容について説明できる。
- 8) 社会福祉とは何かについて説明できる。
- 9) 日本の社会保障制度の課題について説明できる。
- 10) 社会保障における取り組みと地域社会との関係について説明できる。

【教科書】

教科書の指定は行わない。WebClass で事前に講義資料を提供する。

【参考書】

菊池馨実『社会保障法（第 3 版）』有斐閣・2022 年

【成績評価方法】

- ・ 授業への参画度（45 点）+ レポート課題（55 点）
- ・ 授業参画度は、授業への出席状況や発言等の授業態度により評価する。
- ・ レポート課題は A4 用紙で 3 枚程度を 1 回提出。講義中に指示する。

- ・ 規程に基づき、3 分の 2 以上の出席者を評価対象とする。

【学習上の注意事項】

日本の国家予算の状況に目を向けると、社会保障に関連する支出が最も多く、我が国の財政を圧迫している。そのため、社会保障の持続可能性が過大となっている。本科目での学びを通じて、法律や制度はこうなっているという形式面だけではなく、社会保障の助けを必要とする市民像を想像して、社会保障のあるべき姿について考えてみて欲しい。

【垂直的統合授業の実施内容】

本科目は社会保障について理解を深めることを意図した授業であるが、社会医学の公衆衛生学などでも社会保障制度について扱われるため、その前提となる知識の定着が期待される。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	26/4/15	水	3	(講) 講義案内・社会保障への誘い	中島
2	26/4/22	水	3	(講) 社会保障の誕生	中島
3	26/5/13	水	3	(講) 日本の社会保障の特徴	中島
4	26/5/20	水	3	(講) 社会保障の法理論	中島
5	26/5/27	水	3	(講) 医療保険	中島
6	26/6/3	水	3	(講) 年金保険	中島
7	26/6/10	水	2	(講) 雇用保険と労災保険	中島
8	26/6/10	水	3	(講) 介護保険	中島
9	26/6/17	水	2	(講) 生活保護制度	中島
10	26/6/17	水	3	(講) 公衆衛生と医療	中島
11	26/6/24	水	2	(講) 公費医療	中島
12	26/6/24	水	3	(講) 老人福祉、児童福祉	中島
13	26/7/1	水	3	(講) 精神保健福祉、障害者福祉	中島
14	26/7/8	水	3	(講) 社会保障の現況と課題	中島
15	26/7/15	水	3	(講) 地域共生と地域共創	中島

【担当教員】

教員氏名	職	所属
中島 範宏	准教授	総合科学教育研究センター